

第100期 中間報告書

2023年4月1日

2023年9月30日

Contents

株主の皆様へ	P.1
セグメント別概況(連結)	P.3
トピックス	P.5
連結財務諸表	P.7
会社情報・株式情報	P.9



平素は格別のご高配を賜りありがとうございます。
当社グループはこの9月30日をもって、第100期の第2
四半期累計期間（2023年4月1日から2023年9月30日まで）
を終了いたしましたので、業績について概要をご報告申しあげ
ます。

当第2四半期累計期間の当社グループを取り巻く経営環境
は、半導体サプライチェーンの強化に向け世界各国で政策支援
の動きはあるものの、2022年度後半より続く半導体業界の在
庫調整や中国市場の停滞等の影響により、半導体製造装置や電
子部品、FA関連分野における設備投資に依然慎重姿勢が見ら
れ、低調に推移いたしました。

このような景況の下で当社グループといたしましては、受注
拡大に向けて、パワー半導体の需要増に対応した半導体搬送機
器や航空機の電動化のキーハードとなる電動推進モータ等の商
品開発を進めてまいりました。

成長ドライバーと位置付ける半導体分野においては、中長期
的には成長が見込まれている半導体市場の回復を見据え、国内
外の顧客ニーズに応えるべく、2022年度比で約2倍となる年間
生産能力600億円を目指して、豊橋製作所にクリーン搬送シス
テム工場を増築し、シンフォニアテクノロジー（タイ）でも新
工場の建設を進めております。販売面では、国内外の半導体製
造工場向け搬送設備工事を相次いで受注いたしました。また、
新規顧客開拓及び受注獲得に向けて、世界の半導体市場を牽引
する台湾で開催された展示会に約10年ぶりに出展するなど、
ロードポートをはじめとする当社グループの主力製品のプロ
モーション活動を展開いたしました。

次世代ビジネスの創出に向けては、世界唯一の完全閉鎖型の
自動細胞培養装置を開発いたしました。英国政府系機関での実
証試験も完了し、本格的に販売活動を開始いたしました。

また、自律走行ロボット『アムア』の病院内での実証実験を進
めており、フロア間を移動して物品搬送することが可能となる
など、搬送の自動化に向けて着実に実績を積み上げてまいりま
した。

社会貢献に関する取組としては、当社伊勢製作所鳥羽工場に
おいて新事務棟『鳥羽総合センター』が完成したことに伴い、
大規模災害時に鳥羽工場の敷地の一部を災害支援活動拠点と
して提供する災害協定を鳥羽市殿と改めて締結いたしました。
また、当社がこれまで取り組んできたSDGsに関係する製品の
開発や、生産面での電力削減及び地域貢献活動への取組が評価
され、豊橋製作所が「豊橋市SDGs推進パートナー」、伊勢製
作所が「三重県SDGs推進パートナー」として登録されまし
た。今後も引き続き、持続可能な社会の実現に向けて取組を進
めてまいります。

企業集団の連結業績につきましては、受注高は536億42百万
円（前年同期比21.8%減）、売上高は467億92百万円（同
4.6%減）となりました。損益面につきましては、経常利益は
33億63百万円（同22.9%減）、親会社株主に帰属する四半期
純利益は23億37百万円（同23.3%減）となりました。

中間配当につきましては、例年どおり実施は見送り、期末配
当として一括して実施することといたしますので、株主の皆様
には何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、世界的な金融引
き締めによる影響や中国経済の後退懸念等はあるものの、国内
景気は緩やかな回復が継続することが見込まれ、また、半導体
業界の在庫調整が徐々に進展することが期待されます。

企業理念

「一歩先を行く技術」
「地球を大切に作る心」
「思いやりのある行動」

私たちはこの3つを大切に

人から宇宙まで

豊かな暮らしと社会の発展に貢献します。

受注高



このような情勢の中で当社グループといたしましては、半導体市場の需要動向を見極めつつ、これまで強化に取り組んできた生産及び販売体制を活用し、半導体関連製品の販売拡大を推し進めてまいります。

また、少子高齢化による労働人口の減少やデジタル化の進展により重要性が増している生産工程の自動化ニーズに対応するため、協働ロボット向けのFA機器やAIを活用した建設機械等の安全支援システムの販売拡大を進め、お客様の生産性改善に貢献してまいります。

次世代ビジネスの創出に向けては、医療分野をはじめとする新事業領域への本格参入や脱炭素社会の実現に貢献するため、さらなる電動化や水素活用等の新商品開発に積極的に取り組むとともに、これらの取組の成果を高めるべく開発マネジメントの強化に注力してまいります。

環境負荷低減に向けては、当社の企業環境ステートメント「ECOing」を旗印にモータ等の効率化や省電力化に向けた技術開発面での取組に加え、製作所にて再生可能エネルギーの活用や空調・照明設備の最新化等による使用電力の低減を図るなど、CO₂削減目標の達成に取り組む、持続可能な社会の実現を目指します。

これからも、株主の皆様、顧客の皆様から評価していただけますよう、さらに企業価値を高め、成長し続ける企業集団となるべく、グループを挙げて努力を重ねてまいります所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長

武藤 昌三

代表取締役社長

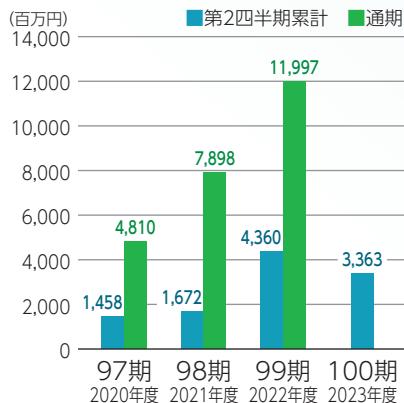
平野 新一

2023年11月

売上高



経常利益

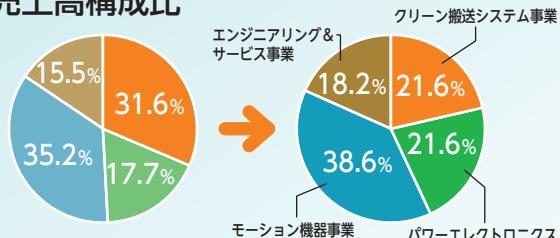


親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



セグメント別概況(連結) Overview by Segment

売上高構成比



2022年度第2四半期

2023年度第2四半期

当上半期におけるセグメント別概況は以下の通りです。

グリーン搬送システム事業

受注高	98億17百万円	(前年同期比 46.0%減)
売上高	101億5百万円	(前年同期比 34.7%減)
営業利益	11億40百万円	(前年同期比 64.2%減)

国内外の半導体製造装置メーカーの需要が低調に推移していることから、受注高は98億17百万円(前年同期比46.0%減)、売上高は101億5百万円(同34.7%減)となりました。損益面につきましては、売上高の減少により、営業利益は11億40百万円(同64.2%減)となりました。



グリーン搬送機器

精密なデバイス加工精度と高度なクリーン搬送技術が求められる半導体製造工程において、世界のトップブランドとして信頼を集めています。大気搬送技術はもちろん、独自開発のN₂パーージ機構を持つロードポートや真空搬送技術で、より微細化と歩留まり向上の要求が高まる半導体メーカーの期待に応えています。

パワーエレクトロニクス機器事業

受注高	137億54百万円	(前年同期比 25.5%減)
売上高	100億76百万円	(前年同期比 16.2%増)
営業利益	1億25百万円	(前年同期比 0.8%増)

EV需要が旺盛な自動車用試験装置は好調に推移した一方で、前年同期は社会インフラシステムで大口案件の受注があったこと等により、受注高は137億54百万円(前年同期比25.5%減)となりました。売上高は、海外における食品関連の設備投資が減速している振動機器は減少したものの、脱炭素や新エネルギー活用に向けた投資が活発化しているLNG搬送ポンプ用モータ等の産業用機器、自動車用試験装置の増加、及び航空機用整備電源の増加により、100億76百万円(同16.2%増)となりました。損益面につきましては、振動機器の売上高減少の影響はあったものの、営業利益は1億25百万円(同0.8%増)となりました。



社会インフラシステム

上下水道の監視制御システム、道路管理用電気設備、さらには再生可能エネルギー発電装置を核とした小規模スマートグリッドシステムなどを提供。安心と快適、そして省エネルギーを実現しながら信頼できる社会インフラを支えています。



振動機器

振動機器のトップメーカーとして、食品・化学・リサイクルなど、あらゆる業界へ振動コンベヤ等を提供。また、スマートフォン等に用いられる微小部品からネジなどの大形部品まで様々な生産・加工ラインにおける部品供給・整列搬送システムを提供しています。



産業インフラシステム

液化天然ガス搬送用のサブマージドモータ、資源リサイクルで金属ハンドリングを効率化するリフマグ®、高度な金属素材開発を実現する超高真空溶解炉、さらには航空機駐機中のCO₂排出量を削減するGPUなどを提供し、持続可能な未来の実現に貢献しています。



自動車用試験装置

スピーディーな開発や安全性が求められる自動車産業において、衝突試験装置等の各種実験装置・検証装置を数多く提供。ハイブリッド自動車・電気自動車など、時代の要求に応える最先端自動車の開発に貢献しています。

モーション機器事業

受注高	188億21百万円	(前年同期比 5.9%減)
売上高	180億81百万円	(前年同期比 4.7%増)
営業利益	10億88百万円	(前年同期比 65.0%増)

防衛予算の増加や基幹ロケットの打ち上げ準備加速等により、航空宇宙関連機器の受注は前年同期比で増加した一方で、半導体製造装置メーカーの在庫調整により、半導体製造装置用アクチュエータが減少し、受注高は188億21百万円(前年同期比5.9%減)となりました。コロナ後の経済活動正常化が進み、アミューズメント用プリンタや建設車両用電装品の需要が回復したことから、売上高は180億81百万円(同4.7%増)となりました。損益面につきましては、売上高の増加と航空宇宙関連機器の採算改善により、営業利益は10億88百万円(同65.0%増)となりました。



航空宇宙

我が国唯一の航空機用電源システムメーカーとして、発電機をはじめとした航空機用電装品等を提供。また、ヘリコプター用レスキューホイストなど人命救助に役立つ製品からロケット用制御システムなど宇宙分野で活躍する製品まで幅広く提供しています。



大型搬送システム

巨大な航空機の牽引をはじめ、乗客の乗り降り、貨物の搬入搬出を担う空港用地上支援車両など、空港運営に不可欠な重量物搬送を行う特殊車両を提供。さらに、港湾、倉庫、造船所における超重量物搬送で活躍する産業用特殊車両など、用途に特化した各種車両を提供しています。



モーションコントロール機器

産業用電磁クラッチ・ブレーキからOA機器用マイクロ電磁クラッチ、自動車用電磁クラッチ、自動車用制振装置、鉄道用ブレーキ、建設機械用コントローラ、産業用サーボアクチュエータなど、豊富なバリエーションを提供。様々な機器の動作制御に関わるモーションシステム製品を幅広く提供しています。



プリンタシステム

アミューズメント施設や街中で見られるシールプリンタやカードゲーム機、各種プリントサービスに使われている昇華型プリンタを提供。世界初の両面プリンタやツインヘッド方式によるホログラムプリンタを開発するなど、プリント&ビジュアル分野の可能性を広げています。

エンジニアリング&サービス事業

受注高	112億49百万円	(前年同期比 6.0%減)
売上高	85億29百万円	(前年同期比 11.8%増)
営業利益	5億90百万円	(前年同期は営業損失1億85百万円)

病院向け設備工事の減少により、受注高は112億49百万円(前年同期比6.0%減)となりましたが、官需向け電気設備工事や台湾での半導体製造工場向け搬送設備工事の増加により、売上高は85億29百万円(同11.8%増)となりました。損益面につきましては、売上高の増加により、営業利益は5億90百万円(前年同期は営業損失1億85百万円)となりました。



シンフォニアエンジニアリング(株)

当社製品の保守・サービス業務、公共、民間の電気工事、管工事、搬送工事等の設計施工業務及び情報機器(券売機、入退場システム等)の製造・販売・サービス業務を主要事業として展開しております。



(株)S & S エンジニアリング

病院内搬送をメインに、移載・収納・保管を含むトータルな搬送システムの導入計画立案から設計、施工、メンテナンスまで一貫した取組で、最適な搬送ソリューションを提供しています。

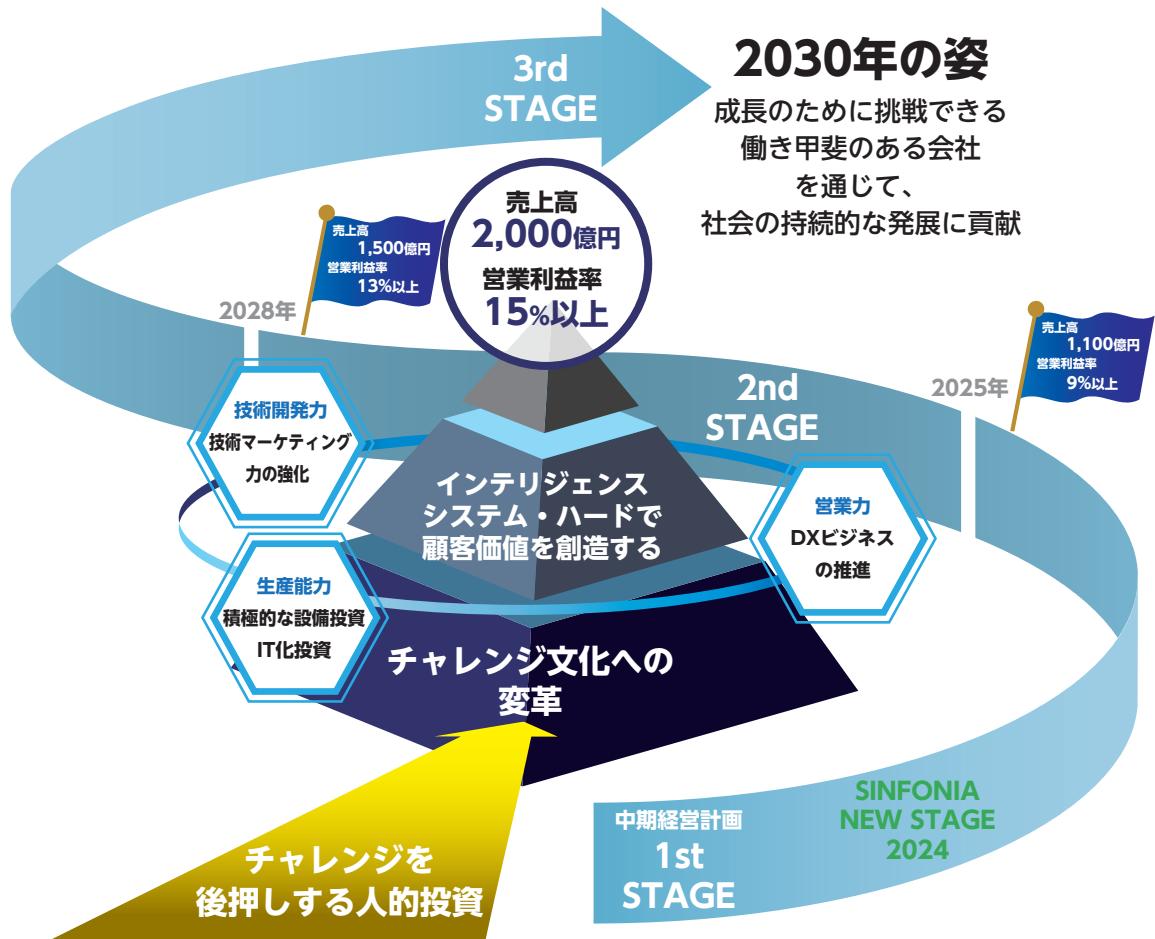
エンジニアリング&サービス事業は、上記2社の他、保険代理業、運送業、労働者派遣業や当社グループ内の経理・給与業務を請け負うシンフォニア商事(株)、ソフトウェア開発やOA機器の販売を行う(株)アイ・シー・エスにより構成されています。

2022年10月にクリーン搬送システム事業を本部として独立させたことに伴い、従来の3セグメントから、「クリーン搬送システム事業」を加えた4セグメントに変更しております。また、「サポート&エンジニアリング事業」は「エンジニアリング&サービス事業」に名称変更しております。前年同期との比較数値については、前年同期の数値を変更後のセグメントに組み替えて表示しております。

ユニコーンプロジェクト始動

当社グループは、長期的な姿を思い描き、その実現に向けて3カ年毎のグループ中期経営計画を策定し、実行していくプロジェクトを「ユニコーンプロジェクト」と命名し、取組を進めております。

半導体・搬送・ロボット分野をターゲットとして、電磁力応用・搬送技術をコアに、インテリジェンスシステム・ハードで電動化・自動化を実現し、社会の持続的な発展に貢献します。



新事務棟「鳥羽総合センター」完成

当社伊勢製作所鳥羽工場で建設を進めていた新事務棟「鳥羽総合センター」が完成し、2023年9月7日に竣工式を執り行いました。業務効率化や災害時の従業員及び地域住民の安全確保等を目的に新設された当該新事務棟は、鉄骨2階建てで床面積は約2,000平方メートルあり、屋上には太陽光パネルを設置しております。ここでは、技術や設計管理、総務業務等を行うほか、会議室や食堂も設置しており、鳥羽工場の基幹的役割を担います。



新事務棟「鳥羽総合センター」

また、大規模災害時には鳥羽工場の敷地や施設の一部を救援活動の拠点や地域住民の避難場所として活用するための災害協定を鳥羽市殿と締結いたしました。鳥羽市殿とは、大規模災害時に鳥羽工場の敷地の一部を自衛隊や消防の災害支援活動拠点として提供する災害協定を2017年に締結しておりましたが、今回の協定により、新事務棟のエントランスや応接室と、耐震化した体育館を地域住民360人を収容する避難場所として提供いたします。

当社の歴史は1917年鳥羽造船所に電機試作工場を建設したことに始まります。その創業の地で今後も「一歩先を行く技術」への挑戦を続け、豊かな暮らしと社会の発展に貢献してまいります。

連結貸借対照表 (2023年9月30日現在)

(単位：百万円)

資産の部	
流動資産	70,888
現金及び預金	9,437
受取手形、売掛金及び契約資産	33,349
商品及び製品	2,281
仕掛品	10,531
原材料及び貯蔵品	14,738
その他	645
貸倒引当金	△95
固定資産	56,945
有形固定資産	35,454
建物及び構築物（純額）	13,872
土地	15,125
その他（純額）	6,456
無形固定資産	1,087
投資その他の資産	20,403
投資有価証券	13,576
その他	6,897
貸倒引当金	△71
資産合計	127,834

負債の部	
流動負債	43,766
支払手形及び買掛金	17,167
短期借入金	9,570
1年内返済予定の長期借入金	3,123
未払法人税等	669
製品保証引当金	545
受注損失引当金	267
その他	12,423
固定負債	20,022
長期借入金	12,592
役員株式給付引当金	124
退職給付に係る負債	3,034
その他	4,270
負債合計	63,789
純資産の部	
株主資本	49,106
資本金	10,156
資本剰余金	452
利益剰余金	40,452
自己株式	△1,956
その他の包括利益累計額	14,939
その他有価証券評価差額金	7,007
繰延ヘッジ損益	△22
土地再評価差額金	3,913
為替換算調整勘定	1,025
退職給付に係る調整累計額	3,014
純資産合計	64,045
負債純資産合計	127,834

連結損益計算書 (2023年4月 1日より 2023年9月30日まで)

(単位：百万円)

売上高	46,792
売上原価	36,219
売上総利益	10,572
販売費及び一般管理費	7,650
営業利益	2,922
営業外収益	573
受取利息及び配当金	225
為替差益	260
その他	87
営業外費用	132
支払利息	73
その他	59
経常利益	3,363
税金等調整前四半期純利益	3,363
法人税等	1,026
四半期純利益	2,337
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,337

連結キャッシュ・フロー計算書 (2023年4月 1日より 2023年9月30日まで)

(単位：百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	2,780
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,088
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,164
現金及び現金同等物に係る換算差額	86
現金及び現金同等物の増減額	△56
現金及び現金同等物の期首残高	9,493
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,436

会社概要

会社名	シンフォニアテクノロジー株式会社
設立	1949年（昭和24年）8月
創業	1917年（大正6年）5月
資本金	101億5,696万円
従業員	3,717名（連結）
本社所在地	東京都港区芝大門一丁目1番30号 芝NBFタワー

株式の状況

発行可能株式総数	116,000,000株
発行済株式の総数	28,362,449株（自己株式1,426,673株を除く）
株主数	12,368名
大株主（上位11名）	

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
日本マスタートラスト信託銀行(株)（信託口）	2,696	9.51
日本マスタートラスト信託銀行(株) （退職給付信託口・(株)神戸製鋼所口）	1,835	6.47
(株)日本カストディ銀行（信託口）	1,297	4.57
シンフォニアテクノロジーグループ 従業員持株会	1,039	3.67
ダイキン工業(株)	1,017	3.59
シンフォニアテクノロジー取引先持株会	965	3.40
大日本印刷(株)	732	2.58
前尾 吉信	460	1.62
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	451	1.59
ナブテスコ(株)	400	1.41
神鋼商事(株)	400	1.41

- (注) 1. 日本マスタートラスト信託銀行(株)（退職給付信託口・(株)神戸製鋼所口）の持株数1,835千株は(株)神戸製鋼所から同信託銀行へ信託設定された信託財産です。信託約款上、当該株式の議決権の行使についての指図権限は(株)神戸製鋼所が保有しております。
2. 当社は、自己株式を1,426千株保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
3. 持株比率は自己株式（1,426千株）を控除して計算しております。

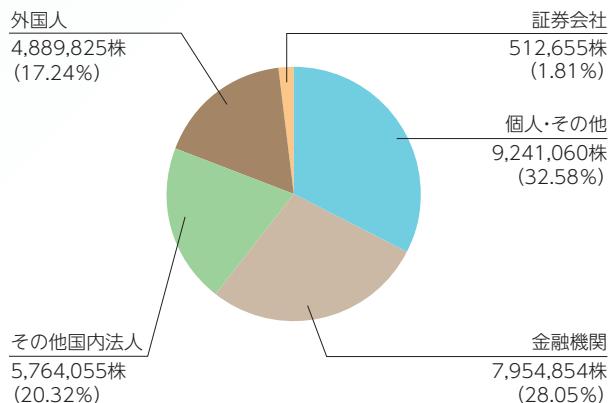
主要な営業所及び工場

支社	大阪、名古屋
支店	九州（福岡）
営業所	東北（仙台）、新潟、北陸（富山）、静岡、三重（伊勢）、中国（広島）
工場	伊勢製作所（伊勢、鳥羽）、豊橋製作所

主要な子会社の本社所在地

シンフォニア商事(株)（伊勢）
 シンフォニアエンジニアリング(株)（伊勢、東京）
 (株)アイ・シー・エス（伊勢）
 (株)大崎電業社（東京）
 (株)S&Sエンジニアリング（東京）
 シンフォニアマイクロテック(株)（明石）
 昕芙旋雅機電（香港）有限公司（中華人民共和国・香港）
 昕芙旋雅機電（東莞）有限公司（中華人民共和国・東莞）
 SINFONIA MICROTEC(VIETNAM)CO.,LTD.(ベトナム社会主義共和国・ハナム)
 SINFONIA TECHNOLOGY(THAILAND)CO.,LTD.(タイ王国・サムットプラカーン)
 昕芙旋雅商貿（上海）有限公司（中華人民共和国・上海）

所有者別株式分布状況



役員

取締役及び監査役

代表取締役会長	武藤昌三
代表取締役社長	平野新一
取締役	坂本克之
取締役	千手裕治
取締役	山国隆一
取締役	幡野隆一
社外取締役(非常勤)	結川孝一
社外取締役(非常勤)	佐古達信
社外取締役(非常勤)	藤岡純
監査役(常勤)	堀悟
社外監査役(常勤)	大西健司
社外監査役(非常勤)	下谷收
社外監査役(非常勤)	藤岡章子

執行役員

※常務執行役員	坂本克之
※常務執行役員	千手裕治
※常務執行役員	山国隆一
※常務執行役員	幡野隆一
執行役員	花木敦司
執行役員	溝端浩輝
執行役員	中村俊樹
執行役員	加藤清巳
執行役員	吉原宗祐
執行役員	佐伯英一郎
執行役員	林和孝
執行役員	瀬田学
執行役員	稲垣努
執行役員	相澤純也
執行役員	塩崎明

- (注) 1. 当社は、結川孝一、佐古達信、藤岡 純、大西健司、下谷 收、藤岡章子の6氏を(株)東京証券取引所の定めに基づく独立役員として同取引所に届け出ております。
2. 上記※印の者は、取締役を兼務しております。

単元未満株式(1株~99株)買増及び買取請求のご案内

当社株式の証券市場での取引は100株単位となっており、単元未満株式を市場で売買することはできません。

当社では、「単元未満株式買増請求制度」または「単元未満株式買取請求制度」のいずれかの制度を選択してご利用いただけますので、ご案内申し上げます。

買増請求制度 株主様がご所有の単元未満株式と合わせて単元株式(100株)となるように、市場価格で当社から購入することを請求できる制度です。

買取請求制度 株主様がご所有の単元未満株式を、市場価格で当社に売却することを請求できる制度です。

具体例 株主様が180株をご所有の場合



単元未満株式の買増・買取、住所変更等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座にて管理されている株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

特別口座から一般口座への振替えについて

株券電子化に際して、証券会社等に株券を預けられていなかった株主様の株式は、三井住友信託銀行株式会社の特別口座に記録されています。特別口座に記録されている株式につきましては、株主様が保有株式の管理を簡便にするため、証券会社等の口座(一般口座)に振替えていただくことをお勧めいたします。

ご所有の株式が特別口座に記録されているかご不明の場合や、一般口座への振替えのお手続につきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお問い合わせください。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
(その他必要あるときは予め公告します。)

上場取引所 東京証券取引所 プライム市場

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 TEL 0120 (782) 031 (フリーダイヤル)



シンフォニア テクノロジー 株式会社

〒105-8564
東京都港区芝大門一丁目1番30号 芝NBFタワー
TEL 03 (5473) 1800
<https://www.sinfo-t.jp>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



この印刷物はFSC®認証紙を使用しています。 この印刷物は植物油インキで作成されています。

